

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談
2. 日時：令和2年12月11日（金）11時35分～12時28分
3. 場所：原子力規制庁 9階 旧耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁

長官官房 総務課 国際室

安井原子力規制特別国際交渉官

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、岩永企画調査官、木原管理官補佐、佐藤管理官補佐、

星主任研究調査官、大塚特殊施設分析官

原子力安全人材育成センター 原子炉技術研修課

上ノ内教官

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー 燃料デブリ取り出しプログラム部

担当者 1名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○原子力規制庁から、福島第一原子力発電所の事故分析に関して、3号機の圧力容器下部ヘッドの破損時間とその根拠等について確認した。

それに対し、東京電力ホールディングス株式会社から、溶融デブリが落ちた根拠等になる事故当時のデータはなく、現状、圧力容器下部ヘッドの破損時間の推測については結論に至っていない旨の回答があった。

6. 資料

なし

以上